

アセアン各国における F V C 構築の取組状況 及び今後の方向について

平成 27 年 6 月
農林水産省国際部

1. ベトナム

(1) 取組状況

- 2014 年 6 月 24 日の日越農業協力対話第 1 回ハイレベル会合での合意を踏まえ、同協力対話の枠組みの中で、アセアン部会と連携し、民間投資と経済協力の連携によるフードバリューチェーン構築のための案件形成や中長期ビジョン（モデル地域設定、計画期間 5 年）案の作成を実施。
- 同年 9 月 25 日、（株）海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）は、ベトナムでのコールドチェーン整備に向け、日本ロジテム（株）、川崎汽船（株）とのベトナムにおける高性能な冷凍冷蔵倉庫の建設および運営に出資を決定（2015 年 6 月、会社設立が認可）。
- 2015 年 4 月より、政策研究大学院大学（GRIPS）、農水省及び JICA は、ベトナム農業農村開発省農林水産品質管理局ティエップ局長を招聘、同局長が行うフードバリューチェーンに関する政策研究を支援。
- 同年 6 月 18 日、日越農業協力対話第 2 回関係機関幹事会を開催し、中長期ビジョン案（官民協議会資料 1－5 別添 1）を事務レベルで審議・合意。また、今後のレビュー・フォローアップ体制の構築について越側と意見交換。

(2) 今後の方向

- 本年 8 月中旬（調整中）の日越農業協力対話第 2 回ハイレベル会合で中長期ビジョンを承認するとともに、ビジョンに沿った具体的な行動に移すことを目指す。

2. ミャンマー

(1) 取組状況

- 2014 年 9 月 23 日、日ミャンマー農相（共同議長）、在ミャンマー日本大使、日本企業（14 社）、JICA、JETRO の代表の出席を得て、日ミャンマー農林水産業・食品協力対話第 1 回ハイレベル会合（ネーピードー）を開催。日本とミャンマーの官民連携によるミャンマーにおけるフードバリューチェーン構築のための具体的方策の検討開始を確認。
- 現在、関係各省と連携しつつ今後のミャンマーへの協力の方向を示す「ミャンマー産業発展ビジョン」（官民協議会資料 1－5 別添 3）を作成中。

(2) 今後の方向

- 本年7月4日に東京で開催予定の第7回日本・メコン地域諸国首脳会議（日メコン首脳会議）の結果を踏まえつつ、7月7日、民間企業等の参加も得て、ネーピドーで日ミャンマー農林水産業・食品協力対話高級事務レベル会合を開催（議事次第は**官民協議会資料1－5 別添2**参照、6月17日現在企業等8社参加予定）。
- 今後、「ミャンマー産業発展ビジョン」を基本とし、我が国官民が関わるフードバリューチェーン構築に係る工程表（今後5年間の官民の取組みを盛り込んだもの。**官民協議会資料1－5 別添4**参照）を作成するなど、今後の二国間協力の枠組についてミャンマー側と調整予定。
- その後の政策対話の実施等は、11月に予定されているミャンマーの大統領選挙後の情勢を踏まえて調整。

3. フィリピン

(1) 取組状況

- 6月4日の日比首脳会談共同宣言において、農業に関する二国間政策対話の立上げについて合意。

(2) 今後の方向

- 対話の実施時期、枠組み等は調整中。

4. インドネシア

(1) 取組状況

- 2014年4月の日インドネシア両国の農林水産副大臣間の合意に基づき、本年6月30日に、日インドネシア農業協力に関する二国間フォーラムを開催予定。（議事次第は**官民協議会資料1－5 別添5**参照）（6月17日現在企業等17社参加予定）。
- 本フォーラムには、インドネシア農業省に加え、商業省、工業省、投資調整庁、先方民間団体等の参加も得て、インドネシアの農林水産・食品産業分野の概況や投資関連の状況について情報共有される予定（インドネシア側の説明資料は後日GFVC推進官民協議会メンバーに共有予定）。
- 参加企業の方々からは、インドネシアにおける事業展開やビジネス上の課題などにつき説明していただく予定。

(2) 今後の方向

- 本フォーラムの結果を踏まえ調整。